

神戸空港の滑走路面(接地帯部分)のゴム除去を アクアサーフェス工法(ゴム除去対応タイプ)で施工しました



アクアビートル(SC-1000仕様)



施工前

施工後

舗装面に付着したゴム膜を 最小限のダメージで除去

日本国内には98の空港があります

神戸空港は国内97番目の空港で地方自治体運営としては国内3番目の神戸市営空港として2006年2月16日に開港しました。現在1日国内線27便、年間2万回の離発着を行っており、開港4年目にして滑走路(延長L=2,500m、幅W=60m)の接地帯部分の舗装面に付着したゴム膜の除去が必要になり今回の施工となりました。

離発着回数の多い空港や大型機の使用頻度の多い滑走路面ほど短期間使用で除去する必要が生じるようです。

着陸時に滑走路に航空機の車輪タイヤゴムが付着し、何回も繰り返すうちに付着ゴム膜が厚くなり、摩擦抵抗が減少してきます。

その付着したゴム膜をアスファルト舗装面に最小限のダメージのみで除去し従来の舗装面に回復するのが今回施工した工法です。

施工内容

起工者は神戸市開発局様で空港の運用時間が午前7:00～午後10:15となっておりますので当然ながら運用していない時間帯の夜間作業となりました。

実施作業時間は午後11:00～午前5:00(現場進入開始～撤収完了)の時間帯で作業を行いました。

全体施工面積は約7,000㎡(接地帯部分のみ)

濁水廃材処分は全量を産業廃棄物(汚泥)最終処分場に処分しました。(発生する汚泥は濁水処理して減量化処分も可能です。)

施工はゴム膜除去後の舗装面品質、施工機械車両編成も問題なくスムーズに施工を完了することが出来ました。アクアサーフェス工法(ゴム除去対応タイプ)は神戸市様、元請発注者様の高評価を獲得しました。

アクアサーフェス工法(ゴム除去対応タイプ)の特徴

当社開発のウォータージェットはつり機械(アクアビートル)を空港用のゴム膜除去専用タイプにしたのが今回使用したアクアサーフェス工法(ゴム除去対応タイプ)です。

アクアサーフェス(ゴム除去対応タイプ)性能概要

- 1:1パスの施工幅員は最大1.0mまで施工可能。
- 2:除去装置は超高压水で剥離したゴムと濁水を同時に完全吸引できる構造ですので、施工後の面には濁水が流れ出たり、残さが残ったりしません。
- 3:使用する超高压ポンプは60L/minの吐水量で除去するゴム膜の厚さに応じて水圧の調整が可能です(50～250Mpa)(アスファルト舗装面の既設グルーピングに対しても傷つけずに施工可能です)
- 4:アクアサーフェス工法(ゴム除去対応タイプ)機械重量は1.5tと軽量である。(設置、積込、移動が簡単)自走で緊急着陸等時の撤収もスムーズ(0～最大20/min)に行える。(回送距離が長い場合は、クレーン付き車両に積み込み撤収も可能)
- 5:特殊吸引車1台、超高压ポンプ車1台との連結ホース等は、キャスター付きで纏めてあるのでコンパクトで整然とした作業が行えます。

当社は皆様が安心、安全に通行できることを願っております。